

平成 27 年度 J A T E セミナーの開催模様

一般財団法人 電気通信端末機器審査協会

当協会では平成 27 年 11 月 26 日（木）、主婦会館プラザエフ（千代田区）において賛助会員の皆様を対象にセミナーを開催し、「訪日外国人の ICT 利用環境整備に向けたアクションプランの推進～国内発行 SIM への差替え等によるスマートフォン等の利用円滑化～」と題して総務省総合通信基盤局電気通信技術システム課長 塩崎充博氏から、次いで「IoT (Internet of Things)の動向 ～ 通信の視点から」と題して(株)情報通信総合研究所 ICT 基盤研究部長・主席研究員 小野寺元哉氏から、ご講演いただきました。

塩崎課長からは、訪日外国人の日本滞在中の ICT 利用環境を向上するため、日本国内に一時的に持ち込まれるスマートフォン等の移動通信端末のうち、我が国の技術基準に適合することを予め確認していないものであっても、国内の通信事業者が発行する SIM を利用できるようにする等、現在総務省が進めている関係法令の見直し及び SIM ロック解除の現況について、また、小野寺部長からは、近年注目度が高まっている「IoT (Internet of Things)」に関し、Things(モノ)とはどんなものか、そのために通信ネットワークや通信端末がどう変わろうとしているのか、IoT 時代の端末審査への課題は何か、について、最新の動向を踏まえて、ご紹介いただきました。

講演後のアンケートでは、塩崎課長の講演に関し、「SIM ロック解除も含め、SIM に関する最新情報について知識が広がった」、「事業法だけではなく、電波法との関係性も含めた内容が良かった」、「無料 Wifi 促進は大変ありがたいので、是非とも実現してほしい」、「通信機器メーカーの立場が規制緩和から生まれるトラブルなどを懸念、またセキュリティへの配慮と考える必要がある」、また、小野寺部長の講演に関し、「『通信の視点』という切り口は少ないので役立った」、「GW 接続型と直接接続型の選べ方(考察)が特に良かった」、「今後のマーケットがどうなるのかが明確ではないが『IoT の期待はインフレ』を見ると不安になる」、「レギュレーションでは守れない秩序が社会危機を招きかねないと思うので、ある一定の認証を自主的にしていく仕組みが必要(リスクの高い端末を購入しないよう導いていく事)」など多数のご感想、ご意見をいただきました。

当協会では、いただいたご感想、ご意見を参考にさせていただき、今後のセミナー開催に反映してまいります。

なお、賛助会員の皆様には、賛助会員専用ページにて講演資料をご覧いただけます。



総務省 総合通信基盤局
電気通信技術システム課長 塩崎 充博 氏



株式会社情報通信総合研究所
ICT 基盤研究部長・主席研究員 小野寺 元哉 氏